

中部地区 公民館だより

第187号

令和8年9月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

地域の宝さがしウォークラリー

参加者募集

令和8年度のテーマ

『城下町 宝さがしウォークラリー』

サブタイトル（神様・仏様・坂めぐりウォーク）



チェックポイントを回り、クイズに答えながら地域の宝をたくさん見つけるラリーです。

令和8年10月25日(日) 開催

受付開始 午前 8時45分 開会式 午前9時
終了予定 午前11時30分



令和7年度の写真

- ◆1グループにつき2人以上のグループ(親子・友人・家族・地域など)
- ※上山小学校に通う児童については、中部地区民に関わらず対象とします。
- ◆小学生以下は保護者の同伴が必要です。
- ◆参加費大人1人200円(当日集金)。
キャンセルは10月9日(金)まで連絡を。
以降は参加費をいただきます。
- ◆小雨決行。雨具をお持ちください。ウォークラリー中止の場合は、上山城で地域の宝さがしを実施します。
- ◆申し込みは公民館だより裏面の参加申込書にて電話、FAX またはメールにて直接公民館へ10月9日(金)まで申し込みください。
- ◆飲み物は公民館で準備します。受付時またはお帰りの時に配布します。

問い合わせ先 中部地区公民館

TEL:023-673-2588 FAX:023-673-0379
Eメール: chubu-1@silver.ocn.ne.jp

令和8年度地域の宝さがしウォークラリー 参加申込み

◆ラリー参加

地 区 名		グ ル ー プ 名	
代 表 者 氏 名		電 話 番 号	

大 人	子 ど も	中 学 生	合 計
人	人	人	人

参加されるお子さんの学年に✓マークをして下さい

□小学生以下 小学生 □1年・□2年・□3年・□4年・□5年・□6年
中学生 □1年・□2年・□3年

◆ボランティア参加

氏 名		電 話 番 号		
-----	--	---------	--	--

- ・中学生は保護者の承認を得て、申し込み願います。
 - ・人数×参加費(200円/1人)は当日お持ちください。(中学生以下の参加費は無料です)
 - ・人数が変更になった場合、必ずご連絡お願いいたします。
 - ・ボランティアは、当日の準備、受付、立哨、後片付け等のサポートです。
- 午前8時20分まで公民館にご集合ください。ボランティアのみは参加費無料です。

中部地区公民館 電話番号 673-2588 FAX 番号 673-0379

きりとり

一般講座

スマホ教室



7月22日(水)、公民館にてスマホ教室を開催しました。

今回は、佐々木壽さんを講師に来ていただき「初心者向けスマホ教室」を開催しました。

スマホを使用する事に不安がいっぱい、わからないことだらけと考えてしまいがちですが、正しく使えば怖くないし、安全を確かめて使用するのが大事な事だという事やスマホの広告を消して目的の動画やサイトを見る方法などを学習しました。

体育レクリエーション

モルック講習会

7月29日(水)、社会福祉協議会の方の指導のもとに「モルック講習会」を開催しました。

経験者が多く、すぐにチームに分かれ試合形式で対抗戦をおこないました。

作戦をたてたり、狙いをさだめてモルックを投げたり、体を動かす頭のスポーツに、参加者の皆さんは楽しそうでした。

「狙ったピンに当てた時が最高！」
「夢中になれて楽しかった」と感想をいただきました。



宿題・学習教室



8月2日(日)、上山小学校に通っている児童を対象に宿題・学習教室を開催しました。宿題先生として2名の方に参加していただき、宿題などを教えてもらいました。

学校とは違い、個人で教えてもらう事ができ楽しく宿題に向きあっていました。

休憩時間にはお菓子を食べながら、学校での話をしたり、習い事の話をして楽しい時間をすごしました。



参加者募集

各種事業は9月2日(水)9時から受付します

野山の植物観察ウォーキング

日 時 9月16日(水)公民館集合
公民館出発 9時00分 戻り 12時30分
講 師 山形市野草園職員
対 象 中部地区管内在住の方
募集人数 21人(定員になり次第締切ります)
参 加 費 300円(昼食代)
そ の 他 飲み物、帽子
園内を散策するので履きなれた靴



財政バスで山形市野草園に向かい、園内を散策します
昼食会は公民館にて行います



健康ポイント対象事業

街歩きウォーキング③

日 時 9月28日(月)
午前9時30分～11時30分
講 師 下十日町地区会長 羽島健夫さん
対 象 中部地区管内在住の方
募集人数 10人程度
参 加 費 無料
そ の 他 履きなれた靴
(飲み物は公民館で準備します)



上山の歴史が楽しく理解できる
観音寺住職の話を聞いたり、
月岡公園などを散策します



健康ポイント対象事業

9月の予定

2日(水) 女性だけの集まり
8日(火) 高齢者教室(映画鑑賞)
16日(水) 野山の植物観察ウォーキング
はこべの会サロンと合同
25日(金) 消防訓練(事務局のみ)
28日(月) 街歩きウォーキング③

9月の百歳体操

3、10、17、24日

はこべの会 9月のサロン

山形市野草園にて園内を散策します
昼食会は公民館にて行います

日 時 9月16日(水)公民館に集合してください
公民館出発 9時00分 戻り 12時30分
場 所 山形市野草園
定 員 21人(体育レクリエーションとの共催事業です
ので定員になり次第しめきります)
会 費 300円(昼食代)
申込受付 9月2日(水)から
持 ち 物 飲み物、帽子
そ の 他 園内を散策するので履きなれた靴

藤井松平氏シリーズ7. 松平信宝（2）湯の上観音「敷石供養塔」 しきいしくようとう

前々回まで、十日町の大火災で類焼した観音寺本堂のことを紹介してきましたが、この度は付随的な「敷石供養塔」を紹介します。敷石供養塔は参道石段を登った左側に建っています。上山市は温泉基盤整備を行った昭和五十（1975）年3月に「温泉発展の^{いしすえ}礎」となられた諸姉のみたまを永く後世に伝えるため」に「観音の御力にすがりながらひたむきに生き抜いた人たちが奉納したもので切々たる願いの心が込められている」と^{いしづみ}碑に記しています。

さて、「敷石」とは何でしょうか。「供養塔」とはどういう意味をもっているのでしょうか。

「敷石」とは、境内参道上の「おたいこ」状の石畳のことです。細工には手間がかかったものと思われる。この敷石は「飯盛旅籠」^{めしもりはたご}の人たちが奉納したものです。現在は供養塔1基ですが、元は2基ありました。2基から1基になった経緯は不明です。当初の建立は、大火災から23年後、弘化四（1847）年7月の観音堂落慶から1年後のことです。

「再建勸化帳」の浄財奉納者の一部を紹介しましたが、その中に旅籠付きの飯盛女の名がみえます。飯盛女が金貨一両を奉納している6名の他に、名前だけの飯盛女8名の記帳が見られます。申し入れはあったものの実際に浄財奉納には至らなかったと考えられ、金銭ではなく観音堂礎の「土搗き」^{どっつき}作業に労働奉仕として参加したという考察を前に紹介しました。

ところで、敷石供養塔（旧）に奉納名が刻まれています。1基目の旅籠屋は播磨屋（中十日町）、大黒屋（2軒・下）、中村屋（中）、栄屋（中）、飯盛女は大黒や内5名、中村や内5名、栄屋内5名、2基目の旅籠屋は大黒や（下）、中村や（中）、栄や（中）、飯盛女は中のさか江や内4名、大黒や内5名、中村や内5名、藤や内3名、相模や内2名、播磨や内5名、めうがや内3名、栄や内5名です。

有力旅籠屋5軒、飯盛女32名（平均6.4人）。幕府御触れでは旅籠一軒に2名の規定ですが、

上山宿でも全体で100名ほど居たと郷土史家梅津吉造氏（初代郷土史研究会長）は考察しています（現在の供養塔は世話旅籠屋播磨や、大黒や、栄や、大黒や、中村やの5軒、飯盛女は大黒や5人、中村や5人、栄や5人）。

火災との関係を考えてみたいと思います。十日町火災は文政八（1825）年3月、中十日町を中心に上十日町、二日町から中十日町、下十日町が焼けました。宿場町復興に23年かかっていますが、宿場町として旅籠屋が早く復興し湯の上観音再建への浄財奉納が多く見られます。再建浄財を拠出できなかった飯盛女が、石畳奉納まで年月があったので復興を遂げた飯盛旅籠や稼ぎのあった飯盛女が供養塔建設に名を刻んだのでしょう。

飯盛女は元文二（1736）年11月に新規に願いが出され、一人1ヶ月三百文を藩庁に献上することで許可されました。が、一度禁止され、文化五（1808）年3月再許可^{てんま}されました。風紀の乱れより運上金と上山宿の伝馬運営費の破綻を補う藩の施策のためと思われます。年貢収入の減少のなか宿場の運上金は藩運営に欠かせなかったようです。

供養塔は直接的には敷石を供養する意味ですが、当時の飯盛女が先輩姉さんを供養するものであったと考察することが筋であるように思います。市の碑文はそれを汲み取ったものでしょう。



（「敷石供養塔（現）」）

※参考文献：「上山繁昌記」（梅津吉造著）、「市史」（上）、市史資料集「上山年代略記」②、「上山郷土史」⑫、「上山見聞随筆」⑮、「湯上観音縁起書」。